



興味だったゴルフを子どもの少年野球デビューに合わせてやめて以来、水城少年野球の監督を約20年務めている千代田豊さん。「長男が小学3年生、下の子が小学校へ入学した年に少年野球を始めました。当時は各地域単位でチームが編成されていてどのチームもメンバーは少なく、当然指導者もいなかったで、一年目はコーチとして活動し、翌年には代表兼監督に就任しました」と小・中学生時代や地区の草野球などで培った経験を生かしコーチとしてユニホームに袖を通した千代田さんは、自分の子が卒業した今でも監督としてチームを引っ張っています。

選手への技術指導以外にチーム運営を任される中で、メンバー不足は頭を抱える問題の一つだったそうです。「児童数が減少している中で、選手への勧誘には苦労しました。加入して欲しいと知人をお願いしたり、チラシを配り歩いたり、少人数のチーム同士が統合して新チームを結成してきましたが、何とか「水城」というこの地域らしいチーム名を残してこられてよかったです。それに私と同じように自分の子どもが卒業してもチームに残ってくれているコーチ陣にも感謝しています」と話します。また、長年チームを見守り続けてきた千代田さんには教え子も数多く、「非行に走りそうになった子もいます。が、野球に打ち込んで今では立派な社会人になっています。そんな子に、たまに会って話しかけられたりするとうれしいですね」と最近では野球を通してはぐくん絆を実感することも多いようです。

監督就任当初は夢中でやってきましたが、10年経ったところからようやく理想を持てるようになったそうで「団体競技で大切なことは思いやりで、チームワークを高めた全員野球が私の指導方針。子供たちには時に厳しく、時にやさしく、野球らしく緩急をつけて接しています。今年に入り市内大会や目標としてきた試合で優勝を果たすなど、うれしい結果の連続。楽しんで野球をやっている選手の姿に感激しています」と笑顔で話す千代田さん。愛するチームを支える監督には、今後も多くの子供たちとの絆を深める野球人生が待っています。

いきいき 行田人

緩急つけた指導で

思いやりの全員野球を

千代田 豊さん (58歳・城南)



野林 瑠輝ちゃん(長野)
父・義史さん 母・由美さん
平成20年10月18日生まれ
「健康で一番!!」



井野 光琉ちゃん(佐間)
父・泰貴さん 母・久美さん
平成20年10月18日生まれ
「元気に大きくなつてね!」



樋口龍也ちゃん(左)・**瞬也ちゃん**(右)(谷郷)
父・貴紀さん 母・由紀さん
平成20年10月7日生まれ
「2人仲良くたくましく」



はじめるまで



竹越 真央ちゃん(下忍)
父・宏行さん 母・真由美さん
平成20年10月12日生まれ
「元気にいっぱい育つてね♡」



馬場 宗佑ちゃん(栄町)
父・功さん 母・梢さん
平成20年10月7日生まれ
「友達百人できるかな♡」

平成20年12月生まれの
お子さんを募集します

○10月30日(金)までに電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください



○応募者多数の場合は、11月5日(木)午後1時30分から市役所203会議室で公開抽選を行います。